

# トヨタ財団国際助成プログラム助成金報告

## ●2013年度

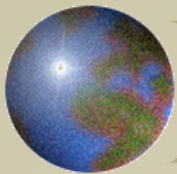
外国人児童生徒の言語形成を保障する  
バイリンガル教育環境推進のための政策提言

## ●2014年度

バイリンガル環境で育つ子どもたちの  
言語形成に考慮した教育環境整備事業  
—韓国との連携で広げるネットワーク構築へ—

バイリンガル提言プロジェクト代表

吉富 志津代



2013年度

# 政策課題(1)

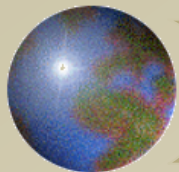
## 日本語指導が必要な外国人児童生徒数



約3万人

### 母語(第一言語)の習得も不十分

習得できる機会が限られている



## ■政策課題(2)

### ✦ 文科省の方針

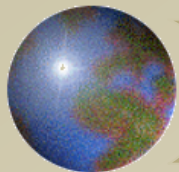
日本語指導の充実

制度面の充実



「特別の教育課程」による日本語指導授業設定へ

母語教育についての検討なし



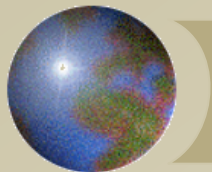
## ■現状の課題

保護者が現状を知らない

個別の言語状況への  
対応が不十分

深刻な問題

- ・セミリンガル
- ・発達障害？
- ・精神疾患？



# 「ことば」(言語形成)

❖ **母語(第一言語) = 国籍ではない**

生まれて最初に身につけてきたことば

自分の気持ちを表現し、

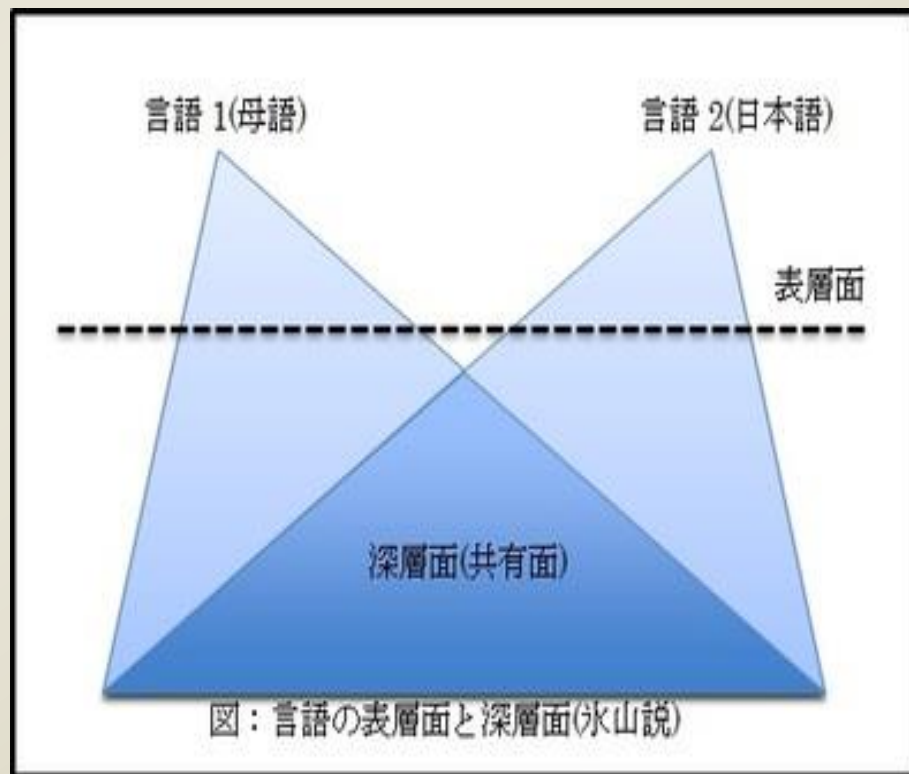
ものを考えるときに

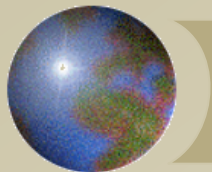
必要な道具

→意識・無意識に関わらず

頭の中で 並べ替えていく

基本的な記号





## 母語教育の重要性

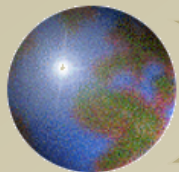
母語習得による認知力・思考力の向上

母語能力  
の向上



日本語能力  
の向上

裏付けのための先駆事例調査と記録DVD制作



## 政策提言:

# 日本語と母語、二つの言語への視点

母語習得による認知力・思考力の向上

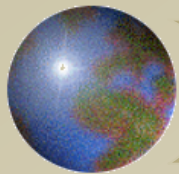
親子間のコミュニケーションの促進

アイデンティティの確立

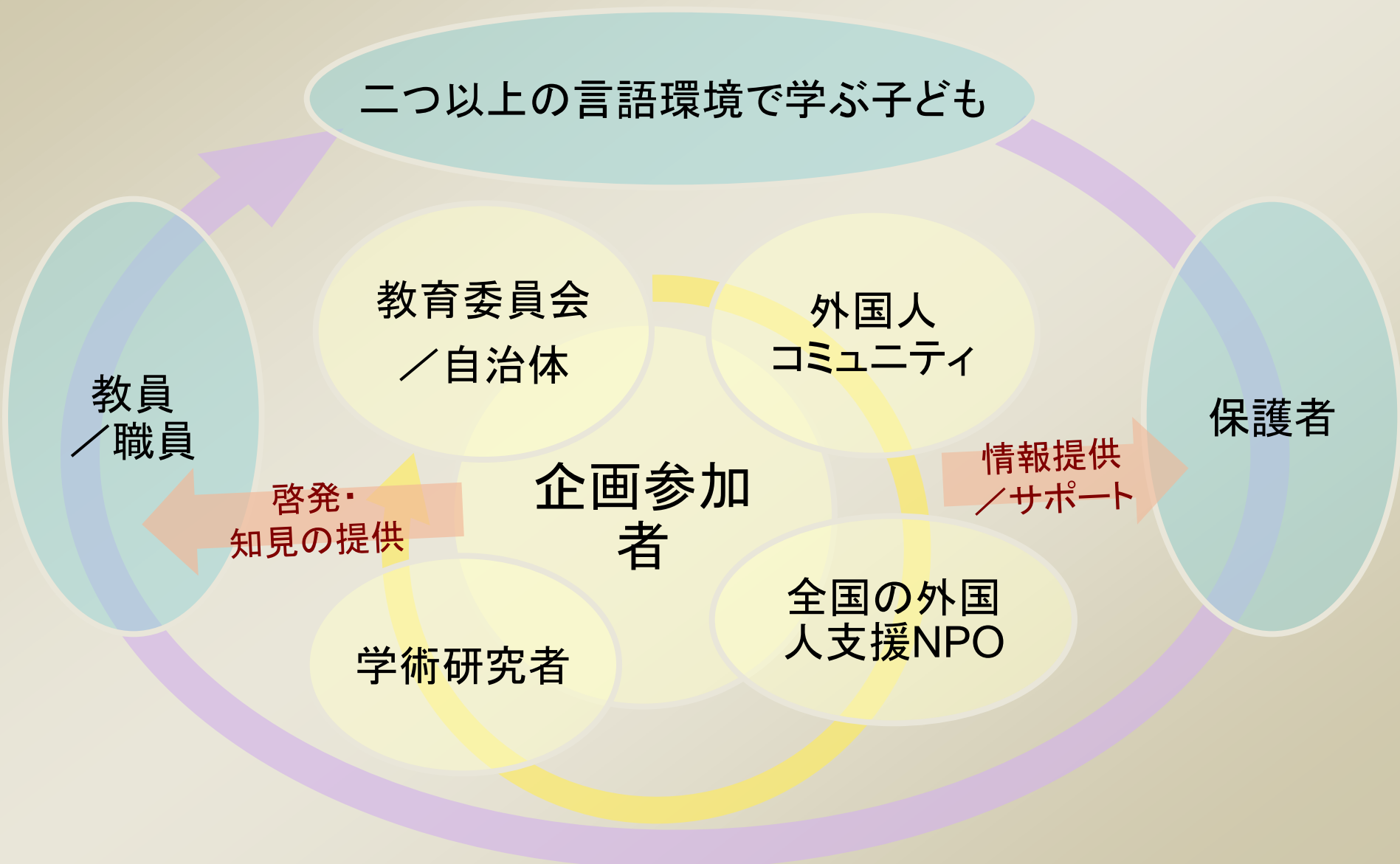
進学や職業選択を有利にする資源

自尊感情を育成

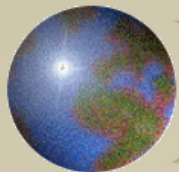
公的教育機関では難しい＝保護者・市民団体との連携へ



# ■本企画の参加者

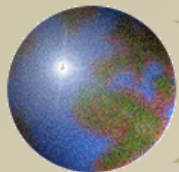






## 兵庫県内の教育機関への提言(2013年)

1. 第一言語(強い言語)を一つ以上確立させるために、日本語指導の拡充と同時に、母語指導の位置づけをしっかりと考慮してください。
2. 国籍に関わらず、外国につながる子どもの言語形成の個別状況を把握するしくみを作ってください。
3. 日本語を母語としない児童生徒の保護者との連携の促進をしてください。



## ■ 活動内容

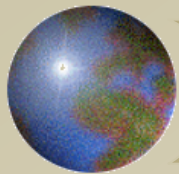
### ✦ 政策提言の普及活動

#### パンフレットの配布とDVDの上映

- 教職員など対象とした研修（教育委員会・自治体と協働）
- 保護者向けDVD鑑賞 & 意見交換会  
（外国人コミュニティ／外国人支援NPOと協働）

#### イベントによる社会発信

- 学校関係者や保護者、さらには児童の関心を喚起
- 社会的インパクトによる全国的な注目



# フォーラム & DVD上映会の実施

## 2014年9月23日

二つ以上の言語環境で暮らす子どもたちにとっての言語形成をみんなで考えましょう。

### わたしのこぼ、わたしの道

～外国につながる子どもたちの言語教育の実践から～

日時：2014年9月23日(火) 13:30～17:00  
会場：神戸市勤労会館 2階多目的ホール  
(〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目1-2)

参加費 無料

こんな方におすすめ!  
主に兵庫県内の学校の教職員、  
外国人児童生徒の保護者、  
児童生徒の教育や  
育成支援に取り組んでいる市民、  
NPO、学生、研究者の皆さんなど。

▶1 基調講演：「・・・世の中は日本語だけじゃない！」  
講師：サニー・フランシス (タレント/ラジオ DJ)  
profile  
インディの地カララ舞生まれ。  
翻訳/通訳者として活動する傍ら、ラジオ、テレビ、イベント、シンポジウムなどもこなす。  
てなかへんたよ日本人、「スーパーニュースアンカー(関西テレビ)」など  
様々なテレビやラジオに出演。

▶2 パネルトーク：若者が語る「わたしのこぼ、わたしの道」  
パネラー：垂井アマンダ、MC ナム、祖藤、松原ルマユリ アキズキ  
モデレーター：小林芽里 (浜松 NPO ネットワーク事務局長)  
司会進行：吉富志津代 (ワールドキッズコミュニティ代表 / 大阪大学 GLOCOL)  
コメンテーター：サニー・フランシス、松田陽子 (兵庫県立大学)

▶3 映像上映：母語、バイリンガル教育を考える  
①日系ブラジル人3世の映像作家・松原ルマユリ アキズキによるドキュメンタリー  
②アメリカ・ミシガン州で日本語と英語でのバイリンガル教育を実施している  
チャータースクール「ひのきインターナショナルスクール」紹介

▶4 PR：県内における教育実践の紹介  
神戸市及び周辺地域において、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、  
韓国朝鮮語など、母語を視野に入れた教育の実践者によるアピール。

▶5 関係機関への提言内容についての意見交換

共催 ワールドキッズコミュニティ、関西母語支援研究会、  
大阪大学グローバルイノベーションセンター、  
関西ブラジル人コミュニティ、ひょうごラテンコミュニティ、  
ベトナム事 KONE、神戸コア教育文化センター、  
たかとりコミュニティセンター

後援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人兵庫県国際交流協会、  
公益財団法人神戸市国際協力交流センター

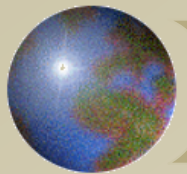
実施・企画 バイリンガル推進プロジェクト「わたしのこぼ、わたしの道」実行委員会

お問い合わせ  
ワールドキッズコミュニティまで  
TEL: (078) 736-3012  
Eメール: kids@tc117.org  
URL: http://www.tc117.org/kids/

「わたしのこぼ、わたしの道～外国につながる子どもたちの言語教育の実践から～」は、トヨタ財団からの助成で開催されます。



## 約100名の参加者／朝日新聞にも掲載



# グローバル人材の育成へ

- ❖ 違う視点で見えてくる社会
- ❖ 自分が他者と違っていても自信を持って素直に生きる。

ニューカマーの子どもたちが発信することで  
解決される日本の教育課題

## ●外国ルーツの子どもの可能性

言語力を活かした将来の仕事の可能性

母語能力育成＋多様な言語運用能力＆多様な文化を理解できる存在

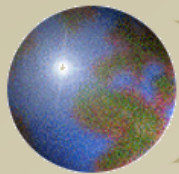
→国際交流、国際協力、外交、ビジネスの場において、有為なグローバル人材として、その社会の経済的・文化的資源へ

## ●クラスのすべての子どもにとっての可能性

クラスの中に異なる文化・言語をもつ子どもたちがいることを大切に感じるような環境を作っていく

→すべての子どもたちに国際理解教育、言語意識教育の機会を与えるなど、教育資源を教室にもたらす





2014年度

同様の課題を持つ韓国との連携

関係機関とのネットワークづくり



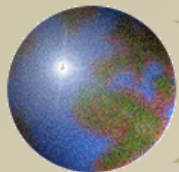
市民団体訪問



2015.10.26吉富志津代



ラウンドテーブル



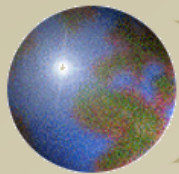
# 韓国社会への発信

## シンポジウムの開催 (2015年8月21日)



提言書提出へ





# 国際シンポジウム:

## 二つ以上の言語の狭間で生きる子どもたち

●日時: 2015年8月27日(木) 18:00 ~ 21:00

●場所: 兵庫県教育会館・ラッセホール リリーの間

1. テッド・デルフィア氏  
(Michigan Japanese Bilingual Education Foundation 会長)
2. ロサ イセラ ドミンゲス氏  
(サンタクルス日本語普及学校 教師)
3. 朴 亨植氏  
(仁川ハンヌリ学校 校長)
4. 秋宗 英生氏  
(兵庫県立芦屋国際中等教育学校 前校長)

バイリンガル教育を考える国際シンポジウム

### 2つ以上の言葉の狭間で生きる子どもたち

母語 ● 日本語 ●

2つ以上の言語環境で生きる子どもたちが理解力・思考力・表現力を不足なく学習できるよう、ひとりひとりの言語習得状況を考慮した教育について考える国際シンポジウムです。

同時通訳対応: 英語・韓国語・スペイン語 (要事前申込) | 託児サービス: 無料 (要事前申込)

**8月27日(木)**  
18:00 ~ 21:00  
(開場17:30)

会場: 兵庫県教育会館ラッセホール リリーの間

**基調講演**  
“すべての言語は平等です”—アメリカ・ミシガン州における日本語・英語のバイリンガル教育の実践から  
講師: テッド・デルフィア氏 (Michigan Japanese Bilingual Education Foundation 会長)

**インタビュー**  
ロサ イセラさんに聞く“わたしのことば、わたしの道”  
ロサ イセラ・ドミンゲス氏 (サンタクルス日本語普及学校 教師)  
聞き手: 松原 ルマユリアキズキ (映像作家)

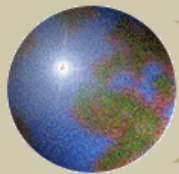
**シンポジウム**  
“多言語の子どもたちの教育現場から”

パネリスト: テッド・デルフィア  
朴 亨植 (仁川ハンヌリ学校 校長)  
秋宗 英生 (兵庫県立芦屋国際中等教育学校 前校長)

モデレーター: 吉富志津代 (ワールドキッズコミュニティ代表 / 大阪大学GLOCOL 教員)  
コメンテーター: 落合知子 (神戸大学 研究員)  
ロサ イセラ・ドミンゲス

共催: ワールドキッズコミュニティ、関西言語支援研究会、アジアブリッジ、大阪大学グローバルイノベーションセンター、関西ブラジル人コミュニティ、ひょうご国際コミュニティ、ベトナム夢KOBÉ、神戸コア教育文化センター、たかとりコミュニティセンター  
後援(予定): 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人兵庫県国際交流協会、公益財団法人神戸国際協力交流センター  
助成: トヨタ財団  
実行・企画: 「2つ以上の言語の狭間で生きる子どもたち」実行委員会

問い合わせ先: ワールドキッズコミュニティ 〒651-0032 神戸市長田区海濱1-3-8 たかとりコミュニティセンター内  
☎ (078) 736-3012 | ✉ info@wkc117.org | http://www.wkc117.org/kbv/



# 国際シンポジウム(神戸)

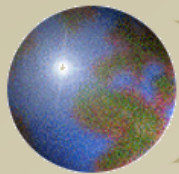
## & ラウンドテーブルの実施の様子



(100名を超える参加者)

2015.10.26吉富志津代





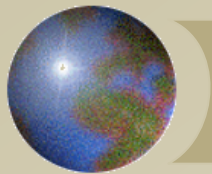
# これまでの成果

## ① 形成されるネットワーク

- 日本国内のみならず、同じ社会的課題をもつ韓国との共同プロジェクトとして、国際シンポジウム等の開催を企画、運営をしていくプロセスにおいて、韓国における関係者（学校現場の教員、保護者など）および研究者、行政機関の関係者と、昨年度の日本の活動で構築した全国のネットワークとのつながり

## ② 成果物

- 日本と韓国で開催する国際シンポジウムおよびラウンドテーブルの多言語による報告書（日本語／韓国語／英語）
- 保護者や教育関係者むけの、言語形成に関する対応マニュアル本（日本語／韓国語／英語／スペイン語）
- 作成した映像の韓国語版および英語版

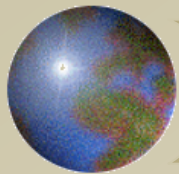


## 活動プロセスでの学びと課題

- ◆ シンポジウム実施に関する手順や処理の違い  
→ 十分な説明の上、信頼して任せる
- ◆ 政治・政策プロセスや文化の違い  
→ 政策提言手法の違いを尊重し情報や目的の共有

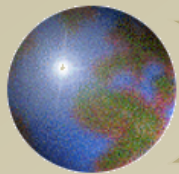
課題を共有することでお互いの励みと刺激

⇒ 提言活動のモチベーションアップ



## 今後の活動

- 情報共有のための報告書作成と多言語化
- ツールとしてのDVDおよびアニュアル作成と多言語化
- 韓国での政策提言活動への後方支援
- 2016年以降、移民送り出し国・フィリピンへの情報インプット  
→ フィリピンの教育関係者との連携を進める



# 多文化共生社会 →どんな子どもも、いきいきと学べる社会へ

